

小橋 市政報告

こばしあきひこ 昭彦



2020年4月神戸新聞より

2020年検討資料

小橋昭彦

検索

実績・誠実

<http://kobashi.ne.jp>



実績

時代に先んじて市政に提言し、皆様との約束を実現してまいりました。

- ・ **観光拠点**として春日IC周辺の重要性を指摘、道の駅丹波おばあちゃんの里の「重点道の駅」選定につながりました。
- ・ **健康まちづくり**戦略の必要性を指摘、医療介護連携システムの整備や健康寿命延伸モデル都市の取り組みに発展しています。
- ・ 水上回廊に基づく**多様性を市民の誇り**とするように提言、水上回廊水分けフィールドミュージアム構想として実現しました。
- ・ **デジタル化の推進**を訴え、市が持つ避難所データ等の公開やデジタル市役所計画、教育情報化の推進につながりました。
- ・ **子育て世代目線**で公園整備を進めるよう提案、遊具計画などを含む公園整備基本計画の立案につながりました。

誠実

市民の声にしっかりと耳を傾け、市政に反映してまいりました。

- ・ **コロナ禍**に苦しま多くのお声を伺いし、会派代表として二度にわたって市政に対策を提言、家賃補助や飲食店支援などその多くが実現しました。
- ・ 市の意志決定過程が不透明との要望を受けて委員長を務める常任委員会で調査し、法令順守基本方針に**公文書作成基準**が加えられました。
- ・ 農家の皆様の請願を受け、「**家族農業の10年**」に合わせた法制化を要望する意見書をまとめ、市議会から国に提出しました。
- ・ **ホームページ**を積極的に活用し、市議会に提案されたほぼすべての議案を解説するほか、柏原のホテルや黒井城の景観保全など、関心の高い市政課題を分かりやすく、タイムリーにお届けしてきました。

重ねた経験と知識に根差した、確かな政策実行力

「市民が、主役」を目指して4年。
市民プラザや市民憲章の実現などをふまえ、3つの柱はそのままに、雇用創出をより意識した産業経済施策や、伝統文化を活かした地域づくりなど、課題意識をさらに深めて取り組んでいます。

共に、感じる

生活者への共感に根差した産業経済政策により、雇用を創出します。

- ・ 継業や創業による経済活性化
- ・ 食ビジネス化による農業振興
- ・ 空き家を活用し移住促進

共に、歩む

市民の活躍を応援する市役所・市議会へ、改革を進めます。

- ・ 市民にやさしいデジタル市役所
- ・ 職員と市民の協働を促進
- ・ 民間の知恵と力を積極活用

共に、生きる

多様性を市民の誇りとし、働きやすく暮らしやすい社会を目指します。

- ・ IT を活用したワークスタイル
- ・ 丹波の森でいきいき子育て
- ・ 伝統文化の香るまち

これまでの歩み

- 2020年 「丹新会」代表として意見を集約
コロナ対策を緊急提言
- 2019年 財政から教育までを所管
総務文教常任委員会 委員長
- 2018年 広聴を取り入れた新組織を実現
議会改革特別委員会 委員
- 2017年 月刊誌「広報」で何度も話題に
議会報編集委員会 委員長
- 2016年 食卓からのブランド強化
丹波大納言小豆ぜんざいフェア
- 2012年 地域づくり人材のネットワーク
地域プロデューサー養成講座
- 2012年 PR×移住者で地域の魅力発信
地域PR会社創業
- 2008年 総務省委嘱で全国の活動を支援
地域情報化アドバイザー
- 2010年 丹波の自然を生かした子育て
大路こどもの森整備
- 2006年 NPOによる地域情報化で評価
地域づくり総務大臣表彰
- 2001年 ネットジャーナリズムを担当
早稲田大学大学院 非常勤講師
- 2000年 東証マザーズ上場のAI起業
ITベンチャーを創業
- 2000年 毎日が締切のライター生活
コラム集（講談社）出版
- 1987年 大阪外国語大学卒業
コピーライターとして広告業界へ

